

ふらぐ

この世界には
ロマンがある

¥0
TAKE FREE

新シリーズ
マンガ

海千の明太
フランス(2本)

引換券が
当たる!!

詳しくはウラ面を
ご覧下さい。

筋肉パノ
は
好かれたい!

目指すのは
ずいずいお父さん!?

目からの
うろこ

食を通じて
宗像の魅力を発信する

▶ひととまちとの交差点 Vol. 13

▶ふらぐニュース

筋肉パンプは 好かれたい!



第1話 目指すのは“すごい”お父さん!?



じゃま

IT'S MY MUSCLE.

私の名前は
くばら
久原すなお

楽しい
移住生活を
期待していたの
ですが――



昨年
都会から
宗像市に引越し

さくらちゃんのお父さんが
私の意見も
聞いてみたいって!
行って良いでしょ

ストア
ストア

また
さくらちゃんに
誘われちゃって……
さくらちゃん

ねえママ
今度
「カタロウ場」
行くから!

娘・メイ(13)

まさか
引越し後に
娘が反抗期に
なるとは……



ぼくも連れてって
ください!

『カタロウ場』

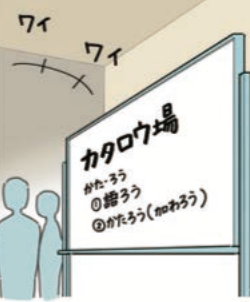
すごい……?

また
葉山さんね
うん!
さくらちゃんのお父さん
すごいんだよ!

さくら
ちゃんのお父さん……
葉山さん……
おはよう
あ……

すごいお父さん
になりたいんです!

おはよう
ございます
久原さん





本文中に登場する動画の
QRコード



宗像市東郷にある摩利支神社で
「桜さくらコンサート」



クラリネット奏者を招いて
「オータムガーデンコンサートin新宮」

Vol.13

ひとまち交差点

宗像のまちで秘かに活動する魅力的な人。
その「ひと」が「まち」と出会い、交わるきっかけを、
ふらぐ編集部のアンドウが取材してきました。



ふらぐ編集部
アンドウ

「楽しいことを思いつづくのが私の取り柄なんです」。

そう笑顔で語るのは、ココカライベント企画
室代表の坂口さん。二つとつのイベントから生ま
れるつながりを大切に活動を続ける坂口さんにお
話を伺いました。

**アンドウ：20年以上携わってきた飲食業から、異
業種の介護職へ転職されたそうですね。**

坂口さん：私が北九州市で飲食店を経営してい
た時のことです。母が東日本大震災で被災して
身体を壊してしまい、一緒に住むことになりま
した。それから1年半の母との生活は壮絶な
ものでした。母の介護で仕事はままならなくな
り、お店の経営はだんだん厳しくなっていしま
した。そして、私自身も体調を崩して入院する
ことに。これは仕事を辞めて母と向き合うしか
ないと考え、お店を閉めて介護の学校に入學し
ました。母の病気について理解を深めることが
できましたし、当時の講師にもたくさん相談に
乗っていただきました。全部一人で抱えこまな
くていい、行政の力をもっと頼っていい。頑張り
すぎている自分にも気づくことができ、学校に
通った半年間でずいぶん気持ちになりました。
卒業後、介護施設に就職が決まって働き始
めたんです。

**アンドウ：2019年に市民活動団体「ココカラ
イベント企画室」を立ち上げられましたね。**

坂口さん：元々団体の立ち上げメンバーの長山さ
んと2人で、ハンドメイド作品を作って出店する
活動をしていました。その時に、障がい者施設の
方から作品を販売する場所がないという相談を
受けました。私たちには県内外さまざまな場所
で出店した経験があったので、「じゃあ、私たちが
代わりに販売しましょう」と。障がい者支援とい
う形でみなさんの作品をご紹介しながら販売。
その売上げは施設にお渡しする。この活動は反
響も大きく、とても喜んでいただきました。私自
身とてもやりがいを感じ、今度は障がい者や高齢
者の方も参加して楽しんでもらえるイベントを
自分たちで企画・運営しようと考えました。参
加することで外出レク（レクリエーション）にな
るし、販売レクにもなる。その場に音楽があれば音
楽レクにもなる。福祉の面からも支援につなが
と考え、団体を立ち上げることにしました。

**アンドウ：今年3月に開催した「桜さくらコン
サート」の動画すごく素敵でした！**

坂口さん：私たちは当初大きなイベントから始め
ようと計画していました。でもコロナの影響で開
催が難しくなつて。そこで、まずは小さくてもでき
ることからやってみようと考えました。現在は、プ
ロの音楽アーティストを招いた野外イベントの開
催を中心に活動しています。音楽を楽しんでいた
だくのはもちろん、イベントの中で福祉施設のみ
なさんの作品コーナーをご用意して販売の支援も
行っています。団体メンバーは4人、さらにサポー

坂口 明美さん
ココカライベント企画室 代表



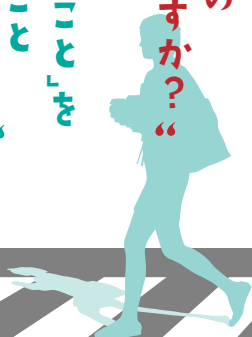
岩手県出身。北九州市で
飲食店を7年経営。母親の
介護をきっかけに介護職
へ転職。2019年、みんな
が笑顔になるイベントの
企画・運営を行うことを目
的に、福祉・教育・地域活
性化を軸に活動する団体
を立ち上げる。現在は、音
楽アーティストを招いたイ
ベントなどを県内で開催
し、人のつながりや癒す場
づくりをしている。

トメンバーが約10人います。みなさんこれまでの活
動を通してつながった医療従事者や介護従事者
です。障がい者や高齢者の方がイベントに参加さ
れた際に、スタッフは専門職なので安心してくだ
さいって言えることは、私たちの団体の強みです。
アンドウ：今後の活動について教えてください。

坂口さん：桜さくらコンサートにご夫婦で参加さ
れた方から、「すごく良かった。またやってよ」と
お言葉をいただいたんです。それは私たちにとっ
て最高の言葉。私はやる前から「難しい」「できな
い」と考えないようにしています。やろうとして
ダメだったら仕方ないけど、とにかくやってみよ
うって。それがもし失敗したとしても、経験の
引き出しになるから。これからも自分たちはど
んな場所でもどんな活動ができるのかを考えなが
ら、地域で人のつながりや癒す場づくりをしてい
きたいですね。

“あなたにとっての
交差点は、どこですか？”

“今自分ができること”を
やり続けてきたこと





第24 つぶめ

産休から復帰した日々子育て
奮闘中のしぎょうが地域で
取り組む活動取材してきました。

宗像に腰を据える企業 海千

株式会社 海千は1995年に宗像市東郷に創立。当時は小さな工場で、主に築地に明太子を卸す他には近所の人たちが直接明太子を買いに行く小さな会社だった。先代の社長が後継者を探していたところ現在の社長と縁があり、3年間の修行を経て2007年に代替わり。先代は名誉会長となり、海千は屋号と明太子の味をそのままに再スタートをきった。

王丸の交差点近く、3号線沿いに位置する宗像工場は2010年に竣工。明太子の製造の他に直売所も兼ねており、新鮮な商品を計り売りで購入できるのは直売所ならでは。現在では博多デイトスや八幡などの店舗のスタッフを含め、100名ほどの従業員が働いている。

海千の商品には地元素材が積極的に使われている。商品ラインナップは幅広く、明太子以外にもアカモク、甘夏を使ったクッキーなどがあり、この夏は地島の椿油を使った化粧品の販売も開始する予定だ。「明太子屋がどうして甘夏や椿油なんだ」と思われるかもしれないが、その背景には「貫して『できるだけ地元や産地のものを使って地元の魅力を発信する』という会社の理念が息づいている。」

食を通じて

宗像の魅力を発信する

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた宗像市。自然からさまざまな恩恵にあずかる中で、その背景にある厳しい環境を目の当たりにしたとき、私たちには何ができるのでしょうか。食品メーカーとして食を切り口とし、独自に宗像の魅力を発信する「株式会社 海千」にその活動と想いを伺いました。



ふらぐ編集部
しぎょう

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれている宗像市。しかしその恩恵の背景には目を背けてはいけないさまざまな厳しい現実がある。海千は明太子事業を柱とした販売事業の他に「宗像プロジェクト」という活動を行っており、地域や環境に目を向けるきっかけを多くの人に提供している。「宗像を味わう。宗像を知る。宗像を楽しむ。」をコンセプトとしたその活動は、宗像の豊かな自然とさまざまな繋がりを大切にしながら食の魅力を伝える、地域貢献活動だ。コロナの影響が出る前は大島や地島でわかめや甘夏の収穫体験などを開催し、離島に馴染みのない一般の方に楽しみながら島の現状を知ってもらう取り組みを行っていた。コロナ禍の現在は積極的に島に人を呼べないこともあり、企業単体で甘夏の耕作放棄地の管理維持を行っている。

「今は月に数回島に足を運んでいます。こんなに深く島に関わることになるなんて、活動を始めた当初は思ってもみませんでした」と笑いながら話すのは、常務取締役で広報も担当する井川春奈さん。島通いのきっかけは宗像市が開催した大島の甘夏の収穫体験に一般市民として参加したことだった。「興味本位で参加したんですけど、甘夏がすごくおいしかったのと、当時の市役所の職員さんから甘夏の耕作放棄地がたくさんあつ

て困っているという状況を聞いて。それが気になって、ご挨拶をして詳しく話を聞いてみたんです。行政はそのような土地をどう活用していくか模索しているところで、市内事業者として商品開発に活用したいという話があるなら地主さんに話して使うこともできる、ということでした。お客さんと呼んで楽しく甘夏狩りができるなら、とその時はあまり深く考えずに軽い気持ちで土地を借りることを決めました。ただ、実際にやってみると、これは生半可な覚悟では続けないといけないぞ、と思うような現実に直面することになりました」。

大島の耕作放棄地の問題

耕作放棄地を管理する背景には複雑な事情がある。漁業の衰退、働き手の島外流出、高齢化など。山を管理する人が減り、山が荒れ、猪の活動範囲が拡大。農作物被害を防ぐにも修繕費用がかかるため、結局手放してしまう。農地を管理し始めてその実情を目の当たりにしたとき、井川さんは「たいてい企業で解決できる話ではないと感じたという。『たとえば獣害対策で、目の前の土地がよくても隣の土地が被害にあつてしまつては意味がありません。島の人たちの協力も必要だ



大島での甘夏収穫体験会



地島天然わかめ収穫体験会

プロフィール

株式会社 海千
常務取締役／広報

井川 春奈さん

岐阜県出身。生来の海好きで自称「島ガール」。大島では甘夏畑の維持管理、地島では椿苗の手入れに奔走中。(一社)Beyond SDGs Japan認定のSDGsビジネスマスターを取得しており、講演なども行なっている。



◎株式会社 海千 <https://tarakomentaiko.com>

◎宗像プロジェクト <https://munakata-project.com>

し、同じような志をもった団体や企業と二緒に力を合わせて、マンパワーを補充して進めていかないと根本的には問題は解決しないだろうと思うようになってきました」。

そんなことを考えていたとき、井川さんは地主から覚悟を問われた。「お前たちの覚悟はどれくらいなんだ。本気でやろうと思ってるんだったらみんな力を貸すぞ、と言われ、そこで心を決めて社長と二緒に島に話をしに行きました。お借りしている畑を本気で維持していきたいと思ってる。おいしい甘夏を作ってお客さんに喜んでもらって、最終的にはその後も島に遊びにきてもらうことが目標なので、そのための畑づくりを頑張りたい、と話をしたところ、そういうふうになっていくんだと思ったら、と驚いてくれました。そうして島の方々に声をかけていただき、ダンジユク伐採とフェンス設置を手伝ってくれました。本当にありがたかったです」。島での活動を「また金儲けか」と言われることも多かっただけに、初めて井川さんたちの想いに共感してもらえた瞬間だった。農業に関してはど素人だが、預かった畑は粗末にできない。新たな責任を胸に、これからも井川さんの島通いは続く。

大切なのは変わらない姿勢を貫くこと

宗像プロジェクトをはじめとした地域貢献活動に力を入れるにあたり、会社の内側と外側で二重の難しさがあると井川さんは言う。「会社では工場を竣工した2010年から10年経った昨年に企業理念を一新し、よりいっそう地域に寄り添う企業を目指すことを掲げました。ですが理念を頭や文字では理解できたとしても、明太子の事業に直結しにくい活動を通してその先に

何があるのか、会社として何を指すのかということ、社員一人ひとりが個人で理解すること、これは簡単なことではないし、強制することでもできません。何のためにこの活動をしていくのか、私たちは日々変わらない姿勢で社員に見せていかないといけないと思っています」。

外側の難しさには、明太子を作って販売する民間企業が地域貢献活動をするということが、商品の売上のための見せかけの活動と捉えられることがあることだ。この点についても、会社がコッソリと地元の魅力を発信していく姿勢を見せ続けていくことが大事だと井川さんは考えている。

「難しさはありますが、企業理念に掲げて会社のロゴも海や島をイメージしたマークに変えた以上、もう引き返すことはできません。誠心誠意、それに向かっているだけです」。そう話す井川さんに迷いはない。「お客様にはあくまでも宗像の良さを感じてもらって、興味がある人には島の現状などが伝わればいいなと思っています。もし宗像市内で同じように環境のことを考えている団体や企業があれば、一緒に何かできるんじゃないかと考えています。私がしている広報の仕事の半分は同じ理念をもつパートナー探しだと思っていますので、これからはたくさん動いていきたいと思っています」。海千の挑戦はこれからも続いていく。



海や島をイメージした会社ロゴマーク

Furagu News

伝わる、ノウハウを学び実践する講座「まちづくりのすゝめ」

受け手に伝わる企画や伝達のスキルをプロから学び実践する講座として、今年も「まちづくりのすゝめ」全4回の講座がスタートします。

- ◎ 参加費：無料
- ◎ 参加対象：まちづくり実践者、これからまちづくりに関わりたい方など
- ◎ 申込み：右QRコードよりお申し込みください。



講座内容

- ◎7月28日(水)19:00-20:30 企画づくりのすゝめ/松岡 まさたか氏(千年夜市代表)
- ◎8月25日(水)19:00-20:00 ブランディングのすゝめ/元木 哲三氏(株式会社チカラ代表)
- ◎9月末予定 Webデザインのすゝめ/横山 洋平氏(デザイン事務所y2代表)
- ◎10月末予定 動画編集のすゝめ

アンケートプレゼントコーナー

海千の
明太フランス
引換券を
プレゼント!

右記QRコードからアンケートに答えていただいた人に抽選で海千の「明太フランス(2本)引換券」をプレゼント! 当選者の発表は2021年9月上旬、賞品引換券の発送をもって代えさせていただきます。

株式会社 海千/住所:福岡県宗像市王丸770番地4
連絡先:0120-94-5356(10-18時) 明太フランス(1本)の金額:通常388円(税込)
※賞品引換の有効期限が2021年10月31日(日)までとなっております。ご了承ください。



応募締切は
2021年8月31日(火)
アンケートはこちら!!



¥0 TAKE FREE



PENTAGON 宗像

ふらぐバックナンバーはこちらから!

<https://pentagon67.com>

